

土魂商才



北海道根室高等学校
商業科・事務情報科通信
令和7年10月31日
第6号
文責：川原慎介



新さっぽろサンピアザでの販売実習の様子

「根室をもっと良い町にしたい！」

そう思ったことありませんか？「ローソンできないかなあ」とか「街灯が少なくて暗い中歩くの怖いな」などなど。それ、みんなの力で実現できるかもしれないですよ！

3年生になると「課題研究」という授業があります。いくつかのグループに分かれて地域の課題解決や、地域に貢献することを目的に活動する授業です。今年、川原先生は「商品プロデュース」というグループを担当しました。地域の特産品を用いて高校生が商品を開発し、販売を行うというグループです。少しですが、商品プロデュースの活動をします。

今年の3年生が考えた商品は、地元の牛乳を使用した「ヒグマチョコプリンです！」

牛乳は、商品の試作段階からJA道東あさひ様より提供していただき、駅前の根室菓舎Hayakawa様と協力してチョコプリンを開発しました。写真は試作品を作っている様子です。

完成した商品は、実際に新さっぽろサンピアザで販売されました。



板チョコを碎いて



熱湯でチョコ溶かして



牛乳と混ぜて冷蔵庫で冷やせば... .



完成です！

生徒が開発した「ヒグマチョコプリン」は、名前は違いますが、チョコプリンとして現在も根室菓舎Hayakawa様で販売されています！**自分たちで作った商品がずっと地元で販売される。**これってすごくないですか！？「自分の作ったプリンを買っててくれる人がいて喜んでくれる。」すごい感動だと思います。**この感動体験が大事なんです！**

「どうせ根室だから。」って思っている人いませんか？そう思っていたらずっとそのままなんですよ。でも「こうすればもっと住みやすいのに」とか思っている人も絶対いますよね。そう思ったら行動することが大事！商業科の授業ではみんなの思いを実現する、実現できなくても実現に向けて取り組むことが出来るんです。冒頭で書いたようにみんなの力で根室にローソンが本当に来たら感動しませんか？

高校生だからこそ出来ることがたくさんあります。地元の企業も協力してくれます。ぜひみんなには「根室を創る」という気持ちを持って学校生活を送ってほしいと思います。「面倒くさい」と思っているよりもずっと楽しい学校生活になると思います！